



SAP ソリューション要約 SAP Safeguarding for Implementation

新技術導入のセーフガード

導入に伴うリスクおよびコストの削減と適切なパフォーマンスの確保

IT 環境の管理および保守は複雑化の一途をたどり、それに伴うコストやリスクも増加しています。

SAP® Safeguarding for Implementation は、導入に伴う技術的なリスクの緩和を支援するサービスポートフォリオであり、円滑な本稼働と継続的な運用を実現いたします。

組織が取り組んでいるビジネスプロセスおよび IT ランドスケープは、複雑化の一途をたどっています。このような複雑なシステムであれば、ビジネスプロセスに合った最適のサポートを提供できるかもしれません。ただし、システムの信頼性と可用性を維持しつつ、システムを最適に動作させることは困難です。アップグレードの実施や、新技術の導入の際は、とりわけ困難を伴う場合があります。

SAP では、技術的な導入およびその後の運用におけるリスクを特定し、低減するための支援を行っています。SAP® Safeguarding for Implementation は、新技術の導入に伴う技術的なリスクとコストの削減に必要なアセスメント、ツール、およびサービスを提供するサービスポートフォリオです。

これらのサービスは、SAP のエンジニアがリモートまたはオンサイトで提供することになりますが、ビジネス設計から導入、本稼働テストに至るまでの導入ライフサイクルをカバーしています。



図1：SAP Safeguarding for Implementation の概要

設計書サインオフのサポート

導入のための SAP セーフガーディングサービス (SAP Safeguarding for Implementation) は、技術面での最適な品質管理はもちろん、SAP のエンジニアが有する独自のナレッジおよび専門知識を提供することにより、適切な導入と SAP ソフトウェアの管理性、信頼性の高い継続的な運用を実現します。SAP では、お客様が導入を行う際に、以下の主要領域を評価します。

■ 技術面でのフェージビリティ

計画されているテクニカルアーキテクチャ (サイジングおよびスループット) がお客様のビジネスプロセスの予想負荷をサポートし、お客様のビジネス要件を満たすことができるようにします。

また、ソフトウェアコンポーネントの互換性を確保し、そのソフト

ウェアがお客様のビジネスプロセスを適切にサポートできるようにします。SAPでは、同様の導入経験を基に、パフォーマンス重視のプロセスステップを検証します。検証結果はサマリとして提供いたしますが、このサマリには、お客様が予定されているコアビジネスプロセスとソリューションランドスケープ（異なるコンポーネント間のインタフェース、データ統合とデータ整合性、および処理対象のボリュームを概説したもの）が記載されています。

■ 機能面でのフィージビリティ

ベストプラクティスを参考にして、導入対象のビジネスプロセスをマッピングし、機能面でのフィージビリティを確保するとともに、潜在的なリスクを特定します。

■ 導入 / ロールアウト計画のフィージビリティ

スケジュールおよび作業パッケージのフィージビリティや完全性など、導入 / ロールアウト計画を、プロジェクトの複雑性に基づいて確認します。また、プロジェクトマイルストーン、ロールアウトコンセプト、およびロールアウトステップについても高度なチェックを実行します。

SAPでは、このような評価を通じて、計画されているソリューションおよびお客様のテクニカルランドスケープを完全に把握し、お客様に合った適切なサポートと契約レベルを定義いたします。最終結果はレポートとして提供しますが、このレポートには、特定されたリスクや問題の詳細な説明のほか、サービス計画を含む技術的なリスク緩和計画が記載されています。

テストフェーズにおける相互運用性の確保

テストフェーズでは、システムランドスケープ全体に及ぶお客様のコアビジネスプロセスの相互運用性と統合を評価します。SAPでは、パフォーマンスとワークロード分散を徹底的にチェックすることにより、統合、データ整合性管理、バッチジョブスケジュール、運用に重点を置いた取組みを行っています。

また、SAPは、お客様のコアビジネスプロセスのエンドツーエンドの機能性を実現し、パフォーマンス、安定性、データ整合性、スループット、および拡張性に関するお客様の要件を満たすことを目標に掲げています。この目標を達成するために、以下を実行して、コアビジ

ネスプロセスに含まれるすべてのクリティカルコンポーネントとインタフェースを分析および監視します。

- 問題の特定と緊急度の設定
- ソフトウェアパフォーマンス監視によるボトルネックの解消と安定性の維持
- 推奨事項の提示によるボトルネックの回避と安定性の向上
- クリティカルな技術問題の原因分析の実行
- ソリューションの推奨、および推奨事項の導入とそれに伴う影響の検証

SAP Safeguarding for Implementation は、パフォーマンス、安定性、およびデータ整合性の改善に重点を置くことにより、お客様のコアビジネスプロセスにおける主要なトランザクションまたはインタフェースをトレースします。

パフォーマンスの確保

テストフェーズでは、テスト計画の検証、実際に行われているテストの監視、テスト結果の分析と解釈を実行することにより、ボリュームテストもサポートします。参照データをご覧いただくと、実際の条件下（ハードウェア、ユーザ数、トランザクションボリュームなど）でコアビジネスプロセスの運用をシミュレートして得られたボリュームテストの結果が信頼性の高いものであることがお分かりいただけます。

さらに、ワークロードの処理およびコアビジネスプロセスの拡張性確認を目的とするソフトウェア設定の分析と最適化も行っているため、リソース消費が一目でわかり、ボトルネックも特定できます。また、プログラムスケジュール管理（バックグラウンドジョブおよびアクティビティのスケジューリング）の計画をチェック、検証することにより、並列処理の度合いに基づいてお客様のスループット要件を満たします。これらのステップを実行していただくことで、お客様は、ソフトウェアの最終的な稼働に向けた最強の基盤を構築できます。

本稼働の準備

本稼働システムへの重要なカットオーバーの際には、SAP チームがオンサイトで重大な問題が発生していないかどうかを確認いたします。問題が発生していた場合には、SAP のリソースへの迅速かつ適切なアクセスをご提供し、問題の解決に向けてサポートさせていただきます。複雑な問題が発生した場合は、お客様を担当する SAP のエキスパートチームがオンサイトに対策室を設置し、問題の原因分析を行います。

SAP エンジニアとお客様のプロジェクトチームがオンサイトで協力し合うことにより、速やかな問題解決と円滑な本稼働を実現いたします。また、問題修正時におけるサービスレベル契約の管理や、関連ステークホルダ全員への対応（ステークホルダによる承認の取得など）も行います。

さらに、ソフトウェア変更方法を用いて、プロジェクトの本稼働移行やコードの固定をサポートしています。

お客様のソリューションの円滑な立ち上げを実現するために、SAP では以下に重点を置いています。

■ データ移行のパフォーマンス

インタフェース、処理に影響を及ぼすエラーや問題の適時分析など、データ移行プロセスのパフォーマンスを監視します。

■ 本稼働

本稼働開始前後の数日間にわたり、ビジネスプロセスおよびお客様のソフトウェア運用のパフォーマンスをプロアクティブに監視し、問題が発生した場合には問題の原因分析を実行します。同様に、データ整合性およびインタフェーススループットを監視し、システム運用およびお使いのアプリケーションについて専門的なアドバイスを提供します。

■ 期末処理

初回の期末処理およびプロセス（関連インタフェースを含む）のパフォーマンスを監視し、エラーが発生した場合にはエラー分析を行います。

■ 問題解決

円滑な本稼働と速やかな問題解決を実現するために、グローバルバックオフィスによるサポートを受けながら、原因分析をオンサイトまたはリモートで実行します。

円滑な運用に向けた変更管理

SAP Safeguarding for Implementation のポートフォリオは、対応する変更管理契約によって補足されます。

SAP は、ソフトウェアソリューションライフサイクル全体にわたって（多くの場合、導入の早い段階において）お客様の品質管理プロセスおよびソフトウェア変更管理プロセスをサポートすることにより、大きなメリットを提供します。この契約は、変更管理方針がテスト方針および SAP 保守方針に沿っていることの確認を目的としています。変更管理方針がテスト方針と SAP 保守方針に合致していれば、ダウ

ンタイムを最小限に抑えることができ、お客様のシステムおよびビジネスプロセスの安定性を確保できます。

SAP Solution Manager のツールに含まれている変更依頼機能をご利用いただくと、テスト済ソフトウェアに加えたあらゆる変更を文書化できるだけでなく、変更後に発生した問題の原因も特定できます。このコンサルティング契約の一環として、SAP のエンジニアは、お客様が以下について適切な手順およびプロセスを踏んでいるかどうかを検証します。

■ システムランドスケープ方針

■ 移送方針（本稼働に移行するためのコード固定方針および承認手順）

■ テスト管理方針およびテスト自動化（手順、ツールなど）

■ SAP 保守方針（リリース管理、サポートパッケージ、パッチなど）

Expertise on Demand の提供

エキスパートオンデマンドサービス（Expertise on Demand）は、複雑な問題を迅速に解決するため、適切なエキスパートを適切なタイミングで割り当てることを目的としています。エンジニアが特定の時点でプロジェクトに参入し、事前定義のトピックについて専門知識を提供します。

SAP Solution Manager は、Expertise on Demand の提供に必要なコラボレーションプラットフォームです。

このサービスに対する依頼は、通常、お客様のスタッフの経験では対応できない、技術的に複雑な問題あるいは特異な問題を対象としています。最終的には、SAP のエキスパートが、運用拡大に関するお客様のご要望に応じて、技術面および機能面でのコンサルティングサービスを提供します。SAP エキスパートまたはお客様のスタッフのメンバーが、オンサイトで発生した問題、あるいはリモートで観察された問題を記録します。潜在的な問題がシステムの不具合に起因するものでなく、お客様が SAP のエキスパートのサポートを必要とされる場合には、Expertise on Demand サービスによる問題の修正を希望するかどうかを決定できます。Expertise on Demand サービスに対する依頼は、SAP Solution Manager を介して SAP に送信され、障害解決についての必要な追跡と報告が行われます。サービス依頼には、問題およびビジネスコンテキストに関する情報が記載されており、SAP はこの情報を使用して適切なエキスパートを迅速に割り当て、問題解決を図ります。

最適な運用の実現

SAP Safeguarding for Implementation を起動するのは、SAP Solution Manager です。この一元化されたソリューション管理とコラボレーションプラットフォームには、お客様がSAPのソフトウェアを導入、サポート、運用、監視するために必要なツール、統合コンテンツ、およびSAPへのゲートウェイが提供されています。SAP Solution Manager をご利用いただくことにより、リスクを最小限に抑え、お客様の運用総費用を削減できます。

SAP Solution Manager は、お客様のソリューションランドスケープ内で実行され、お客様の分散システムの技術的なサポートを容易にします。さらに、問題に関連するあらゆる情報を自動的に取得することにより、原因分析と問題解決の迅速化を図ります。

SAP Solution Manager によるサポートは、お使いのソフトウェアのライフサイクルが終了するまで続きます。また、SAP Solution Manager は、SAP コンポーネントか非 SAP コンポーネントかを問わずにサポートするだけでなく、既存のSAPのソリューションと新規SAPのソリューションの両方に対応しているため、基本のITインフラストラクチャにお客様のビジネスプロセスをリンクさせることができます。さらに、オンサイトサービスを通じて、集中的なナレッジトランスファとベストプラクティスへのアクセスも提供しています。SAP Solution Manager の料金は、年次保守料に組み込まれているため、追加のライセンス料は発生しません。

SAP Safeguarding for Implementation によるメリット	理由
技術的リスクの最少化	<ul style="list-style-type: none"> 30年以上の月日をかけて実証されたパフォーマンスおよび結果から得たSAP固有のナレッジと経験に基づいて、技術的なリスクをプロアクティブに特定するとともに、その数の最少化を実現
計画に沿った本稼働移行	<ul style="list-style-type: none"> 最優先課題の特定および解決後、本稼働に移行 経験とベストプラクティスに基づいたプロジェクトを計画および実行
継続的なパフォーマンスの維持	<ul style="list-style-type: none"> お客様のコアビジネスプロセスとインタフェースのパフォーマンスに重点を置いた取り組み 本稼働システムの継続的かつ円滑な運用を実現するプロアクティブなサービス
当然性	<ul style="list-style-type: none"> 固有の方法論およびSAPのベストエキスパートの活用によるリスクの最少化

詳細情報

SAP Safeguarding for Implementation をご提供させていただくお客様は、何千ものインストールをサポートしたSAPの30年に及ぶ経験をご享受いただけます。さらに、何もないところから導入を開始する煩わしさも解消できます。

SAP Safeguarding for Implementation の詳細につきましては、以下のSAPのWebサイトをご覧ください。

<http://service.sap.com/safeguarding>

(SAP Service Marketplace は、SAP のユーザ様、パートナー様向けの限定サイトです。)

50081001J (KI06/08)
© 2006 SAP AG. All rights reserved.

SAP, R/3, mySAP, mySAP.com, xApps, xApp, SAP NetWeaver および本書で引用されている SAP 製品およびサービスは、関連するロゴを含め、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。この文書に記載のその他の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。本文書に記載されたこれ以外の各製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。本書に記載されたデータは情報を提供することのみを目的としています。各国の製品仕様は変更される可能性があります。環境にやさしい紙に印刷されています。これらの資料は予告なしに変更されることがあります。これらの資料は SAP AG およびその関連会社 ("SAP グループ") が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは資料に関する過失の責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに関する唯一の保証は、当該製品およびサービスに添付している明示的保証書がある場合に、これに記載されたものに限られます。本資料のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

THE BEST-RUN BUSINESSES RUN SAP™



SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル TEL 03-3273-3333 (代表)
<http://www.sap.com/japan/>